

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.4

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43880

143

漢

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 平 第 700 号	総第 18800 号
	昭和 44 年 4 月 23 日 19 時 49 分	
	大至急・至急・普通・LTF	発電係

電信課長

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アソカ局長 多田 朱北一	主管局部課(室)名 朱局長 起案 昭和 44 年 4 月 23 日 起案者 朱局長 電話番号 443
---	--------------------------	---

協議先
朱局長 朱局長

大使 臨時代理大使
在 朱下田 総領事 代理 朱大臣 発

電報 在 大使 臨時代理大使
朱大臣 総領事 代理 朱大臣

件名
沖縄通還問題 (南大臣・朱代理大臣会談)
22日午後 木下ホーン代理大使 正招致
南大臣が アソカ局長 正 ワシントンへ派遣 予定
その際、南大臣が 朱時 携行予定の 資料が 朱大臣に
・ 11-110-1 の 事案を 朱側に 呈示の上 協定
せしめらるゝこと 正伝え (4) 1944年 4月 23日 正 起案

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二・七一改正)

GB-1

23 108

字 濟

2

中の 11-110-1 事の 基本的事案 (A) アソカ局長の 報告
の 概況 (特に 通還 増大 (B) 沖縄の 防衛
の 必要 (C) 日本 本土 並みに 引渡す (D) 朱側 として 政治
的 見地 にも 必要 あり、 といふ こと あり
① 現在 通還 の 時期 として 1972 年中 が
望ましく、 沖縄 基地 の 整備 の 必要 あり こと あり
適用 あり こと、 即ち 11-110-1 事案、 1944 年 4 月 23 日
の 報告 あり、 その 報告 の 中、 植民 地 の 関係 あり
関係 の 運用 あり、 日本 の 合意 あり こと あり こと あり
事案 24 日 正 正 伝 明 した、 こと あり こと あり
は アソカ 局長 として 携行 あり こと あり、 11-110-1 事
の 事案 あり こと あり、 11-110-1 事案 あり こと あり
の 事案 あり こと あり、 YES も NO も 両方 あり こと あり
あり こと あり、 こと あり こと あり、 こと あり こと あり
南大臣 も 同様に、 今後 是れ 協定 あり こと あり

GB-3

外務省

連絡がなされたと述べて公報を終了した。なお
 本大臣は、沖縄の原潜放射能調査の目的
 の協力を準備が完了したと5月12日
 記者会見で述べた。(要約公報)

(3)